

ブラジル -S&Pが「BB」に格下げ-

<「BB+」から「BB」に格下げ>

2月17日（現地時間）、米格付け会社スタンダード・アンド・プアーズ（S&P）はブラジルの格付けを投機的等級の領域でさらに1段階引き下げました。S&Pは昨年9月にブラジルの長期外貨建て債務格付けを投機的等級の「BB+」に引き下げましたが、今回はさらに1段階低い「BB」とし、見通しを「ネガティブ（弱含み）」としています。

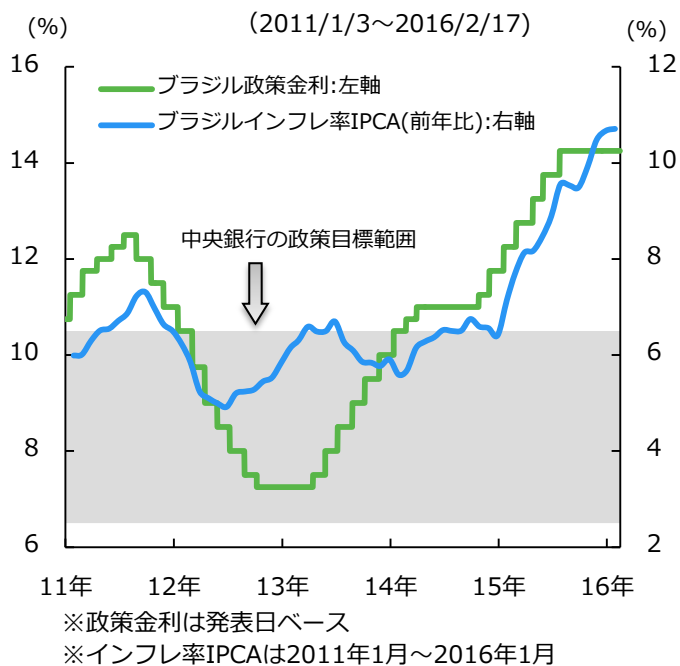
格下げの理由については「ブラジルはなお政治、経済をめぐるかなりの困難に直面しており、調整プロセスはさらに長引く見込みであり、財政再建が遅れ、経済はあと1年は大幅に縮小する見通しである」と指摘しています。

<今後の見通し>

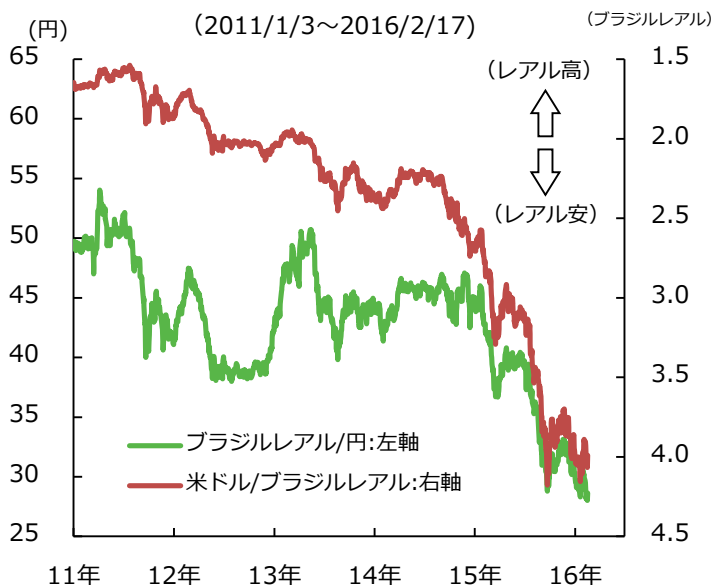
17日の海外市場はイランがサウジアラビアとロシアが合意した原油の生産量維持案に支持を表明したことから、原油価格が大きく上昇し、これまで下落していた資源国の通貨や株式市場が上昇しました。S&Pからブラジルの格下げが発表されましたが、既に格付けが投機的等級にあったこともあり、ブラジルレアル（以下レアル）やブラジル株が大きく下落することはありませんでした。レアルは対米ドルでは前日比+1.9%上昇し1米ドル=3.9902レアル、対円では同+2.2%上昇し1レアル=28.63円となっています。ブラジル株（ボブスバ指数）は同+1.7%上昇しました。

今後は、米国の金融正常化の動きから新興国・資源国の通貨は変動性が高まりやすい上、国内景気の低迷や政治的な混乱、財政再建の遅れに伴う信用不安などによりレアルは当面不安定な動きが続くことが予想されます。レアルの安定のためには、スタグフレーションの緩和、財政再建策の進展、政治的混乱の収束が求められます。

<政策金利とインフレ率の推移>



<ブラジルレアルの推移>



出所: Bloomberg

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.24200%（但し、最低 2,700 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会